

地理学会ニュース

2017 年度 第 1 号

法政大学地理学会

2017 年 6 月 2 日発行

法政大学地理学会 2017 年度 第 1 回例会（講演会）のお知らせ

- 1) 講演会テーマ：「南極からみえる地球環境」
- 2) 日時：2017 年 7 月 1 日（土）13:30～17:30
- 3) 会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見
ゲート G403 教室
- 4) プログラム（予定）
13:30～13:40 前杵英明（法政大学文学
部）：開会の挨拶と講演者の紹介
（観測隊歴）37 次越夏、45 次夏隊

13:40～14:30 中山由美（朝日新聞社）：極
地から地球がみえる
（観測隊歴）45 次越冬、51 次夏隊

14:35～15:25 宮本仁美（気象庁）：南極の
気象と地球環境
（観測隊歴）30 次越冬、37 次越冬、52 次越
冬隊長

15:25～15:35（10 分休憩）

15:35～16:25 伊村 智（国立極地研究
所）：南極の生物と地球環境
（観測隊歴）36 次越冬、42 次夏隊、45 次越
冬、49 次総隊長（兼夏隊長）

16:25～17:15 三浦英樹（国立極地研究
所）：南極の地形と地球環境
（観測隊歴）37 次夏隊、38 次夏隊、40 次夏
隊、45 次夏隊、47 次越冬、
51 次夏隊、56 次越冬隊長

17:15～17:30 澤柿教伸（法政大学社会学
部）：コメントと閉会の挨拶
（観測隊歴）34 次越冬、47 次越冬、53 次夏
隊

18:00～ 懇親会

5) 講演会開催の趣旨

1957～58 年の国際地球観測年を契機に
1956 年から日本の南極観測が本格的に始めら
れた。2016 年度は南極観測 60 周年にあたり、
記念切手発行をはじめ、全国的にさまざまな行
事が行われた。2017 年は昭和基地開設 60 周年
となる。当初は戦後復興と国際社会への復帰の
シンボリックな意図があったが、日本が景気回復
し、国際社会での役割が認められるようになると、
南極観測の意義は次第に純粋に科学的なものへ
と移行していった。自然地理分野は特に地形や
地図作りを中心に、1 次隊からほぼ毎回隊員と
して参加し続けており、南極観測に果たしてき
た役割は少なくない。今回の講演は、まずマス
コミの女性として初めて越冬して南極観測を報
道してきた中山由美さんをお願いしております。
中山さんはその後も北極などの調査に参加し、
地球環境に関する記事を発信し続けています。
そのあとは、地理学と関係が深い大気、生物
分野の最近の観測・研究動向を何度も越冬経
験があるベテランの隊員経験者のお二人（宮
本さん、伊村さん）に講演をお願いしております。
最後に自然地理分野でずっと南極観測に関わ
ってきた地形・表層地質分野から三浦さんに
講演をお願いしております。最後に法政大学の
南極観測経験者の 1 人として澤柿さん（社会学
部）にコメントを頂く予定です。皆さんの積極
的な参加をお待ちしています。

2016 年度定期総会の記録

法政大学地理学会 2017 年度定期総会は、2017 年 5 月 13 日（土）16 時 20 分より、法政大学市ヶ谷キャンパス BT1300 にて開催された。前々英明庶務委員長による開会の辞のあと、議長に杉山 保会員、書記に齋藤 圭会員を選出して以下の議題に入った。出席者は 29 名、委任状 6 名で総会成立要件の 27 名以上を満たしていた。あった。議題 1, 2, 3, 4, 5 については、いずれも常任委員会より提出された原案が承認された。



写真 1 佐藤会長挨拶

〔議事〕

1. 2016 年度事業報告

細田浩常任委員長より以下の事業報告がなされ、承認された。

- (1) 2016 年度定期総会の開催、および 2017 年度定期総会の開催準備
- (2) 2016 年度「法政大学地理学会大会」開催
- (3) 第 6 回「法政大学地理学会賞」（最優秀卒業論文賞）受賞者の選考・決定
- (4) 機関誌『法政地理』第 49 号（2017 年 3 月発行）と法政地理学会ニュースの刊行（年 4 回：6, 9, 12, 3 月に発行）
- (5) 例会の開催
 - 第 1 回例会（シンポジウム、2016 年 7 月 2 日）
 - 第 2 回例会（巡検、2016 年 11 月 19 日）
- (6) 評議員選挙細則の改正
- (7) 2017～2018 年度評議員選挙の実施
- (8) 学会ウェブサイトおよび Facebook の管理・運営

(9) 会員名簿の管理

(10) その他

2. 2016 年度決算報告

小原文明会計委員長より以下の決算報告がなされた。

1) 一般会計

【収 入】	< 予算 >	< 決算 >
会費等	1, 245, 000	1, 378, 500
出版補助金	150, 000	150, 000
雑収入	20, 000	22, 019
前期繰越金	406, 126	406, 126
合 計	1, 821, 126	1, 956, 645

【支 出】	< 予算 >	< 決算 >
消耗品費	10, 000	6, 430
あ印刷費	800, 000	875, 242
郵送費	310, 000	174, 746
委員会運営費	120, 000	70, 866
特別活動援助費	220, 000	197, 993
支部活動援助費	10, 000	0
情報化関連費	10, 000	3, 395
雑支出(予備費)	10, 000	2, 376
次年度繰越金	331, 126	625, 597
合 計	1, 821, 126	1, 956, 645

2) 特別会計

【収 入】	< 予算 >	< 決算 >
雑収入	0	0
前期繰越金	7, 500, 000	7, 500, 000
合 計	7, 500, 000	7, 500, 000

【支 出】	< 予算 >	< 決算 >
雑支出	0	0
合 計	0	0
次期繰越金	7, 500, 000	7, 500, 000

3. 監査報告

道明紀彦監査・浜田弘明監査より「会計は適正に処理されている」とする監査報告があり、上記 2 の決算報告とともに承認された。

4. 2017 年度事業計画について

細田浩常任委員長より以下の事業計画案が提起され、承認された。

- (1) 2017 年度定期総会の開催、および 2018 年度定期総会の開催準備
- (2) 2017 年度「法政地理学会学術大会」の開催（2018 年 2 月末予定）
- (3) 第 7 回「法政大学地理学会賞」（最優秀卒業論文賞）受賞者の選考と発表・表彰
- (4) 機関誌『法政地理』第 50 号（2018 年 3 月発行予定）と法政地理学会ニュース（4 回発行予定）の刊行
- (5) 例会（講演会：7 月 1 日、巡検、11 月中）の開催
- (6) 学会ウェブサイトおよび Facebook の管理・運営
- (7) 会員名簿の管理
- (8) その他（支部活動の援助等）

5. 2017 年度予算について

小原丈明会計委員長より以下の予算案が提起され、承認された。

1) 一般会計

【収 入】

会費	1,335,000
出版補助金	150,000
雑収入	10,000
前期繰越金	625,597
合 計	2,120,597

【支 出】

消耗品費	10,000
印刷費	1,000,000
郵送費	200,000
委員会運営費	100,000
特別活動援助費	220,000
支部活動援助費	10,000
情報化関連費	10,000
雑支出（予備費）	3,000
評議員選挙積立金	60,000
次年度繰越金	507,597
合 計	2,120,597

2) 特別会計

【収 入】

雑収入	0
前期繰越金	7,500,000
合 計	7,500,000

【支 出】

雑支出	0
合 計	0
次期繰越金	7,500,000

6. 次期会長、副会長、監査の選出

次期会長 佐藤典人会長
副会長 相原正義会員 大塚一雄会員
松浦久生会員
監査 道明紀彦会員 伊藤達也会員

上記の通りそれぞれ選出された。

7. その他

特になし

2017 年度評議員会の記録

2017 年度定期総会に先立ち、2017 年 5 月 13 日（土）13 時 30 分より、法政大学市ヶ谷キャンパス BT1300 教室にて評議員会が開催され、前杵英明庶務委員長の進行で、2017 年度総会議事の説明を行った。資料の微修正および学会誌の著作権に関する意見が出され、2017 年度の検討課題となった。出席者は、事前委任状提出者が 6 名、当日の出席者は 13 名であった。

2017～18 年度評議員の追加当選について

2017 年度定期総会において、2017～18 年度評議員選挙で当選された、佐藤典人会員が会長に、伊藤達也会員が監査に就任した。そのため、以下の 2 名の会員が新たに評議員として追加当選した。

中村圭三会員、南 春英会員

第6回法政大学地理学会賞（最優秀卒業論文賞）は、服部 舞さんに授与

受賞者：服部 舞

論文名：日本における脳血管疾患死亡の地域性に関する生気候学的考察

当日は受賞者が欠席されたため、集会委員長より、受賞者、論文名の紹介がされた。



写真2 贈られた賞状と盾



写真3 講演中の箸本健二先生



写真4 参加者との活発な質疑応答

記念講演

2016年5月14日（土）、本年度法政大学地理学会の総会に先立って、以下の記念講演が開催された。

演者：箸本健二氏（早稲田大学 教育・総合科学学術院教授）

演題：「衰退する地方都市中心商店街とどう向き合うか」

<講演記録>

本年度の特別講演は本学卒業生で、現在、早稲田大学教授の箸本健二氏に「衰退する地方都市中心市街地とどう向き合うか」という題名で講演をいただいた。日本全体が縮小傾向にある中、各地域のまちおこし、地域創生、地域振興等の試みが拡大路線を描きがちなのに対して、現実を見つめ、地域の実力に根差したまちづくりの必要性をわかりやすく、事例をたくさん交えてお話しいただいた。会場には約40名の参加者が集い、熱心に耳を傾けていた。

機関紙誌「法政地理」第50号（2018年3月発行予定）の原稿募集

2018年3月発行予定の機関誌「法政地理」（第50号）の原稿を募集します。投稿は当学会員ならば誰でも可能です。学生、研究者、OBの皆さんから多くの投稿を期待します。投稿希望者は下記の要領で編集委員会までご連絡ください。原稿の種類は論説、研究ノート、フォーラム、書評、その他です。

また、次号は第50号の記念号となりますので、前述の原稿以外に法政地理学会創設時の経緯やこれまでの活動などについて、会員の皆様から広く原稿を募集する予定です。詳細については次回のニュース（第2号、9月発行予定）でお知らせします。

1. 投稿希望者は2017年8月1日(火)までに、原稿の種類と予定原稿枚数(400字詰原稿用紙に換算)をメールまたは葉書にて編集委員会までお知らせください。

2. 投稿希望者は2017年9月1日(金)必着で、当学会の投稿規程に則り、原稿を送付してください。その際、機関誌巻末の原稿送付状を添え、印字原稿と媒体(CDなど)と一緒に提出してください。

3. 投稿された論文を査読し、必要に応じて修正を求める場合があります。

4. 編集作業予定

2017年10月13日(金) 投稿者への原稿修正
依頼

2017年11月15日(水) 修正原稿の提出締め
切り

2017年12月15日(金)～2018年2月9日(金)
原稿校正

2018年3月上旬 校了

2018年3月下旬 発行

<連絡先メールアドレス>

henshu@chiri.info

<葉書、及び原稿などの送付先>

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

「法政大学地理学会編集委員会」宛

(編集委員会委員長・加藤 美雄)

2016年度委員会メンバー

(2016年6月10日現在)

◎常任委員長

細田 浩

◎編集委員会

委員長 加藤美雄

委員 吉岡 耀子、勝部 恭央、三尾 成彦、
千葉 晃、村上 祐也、架谷 力

◎集会委員会

委員長 前李英明

委員 齋藤 圭、南 春英

◎会計委員会

委員長 狩野真規

委員 塩谷恭正

◎庶務委員会

委員長 米家志乃布

委員 中村太輔

◎広報委員会

委員長 永保敏伸

委員 安森直輝、羽佐田 紘大、金子 拓
矢、本橋 淳也

地理学教室だより

2017年度の文学部地理学科在校生は、1年生113名、2年生114名、3年生97名、4年生136名になります。また新任の教員スタッフとして、山口隆子准教授(気候学)、羽佐田 紘大助教(地形学)をお迎えいたしました。さらに地理学事務室も、2017年3月末の上岡沙紀さんのご退職にともなって新たに芝原亜希子さんをお迎えし、地理学科はフレッシュな顔ぶれでのスタートとなっております。学科のスタッフ一同、地理学科生の教育活動に心を新たに努力していく所存です。

そして、地理学科のOB・OGの皆様をはじめ、会員の皆様には、是非とも学生会員でもある地理学科の学生と接する機会を持っていただければ幸いです。その主たる場が法政大学地理学会の例会や大会になると思いますので、ぜひご参加いただきたく、会員皆様のご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(地理学科主任・米家志乃布)

地理学教室(通信教育部)だより

2017年度、通信教育担当の主任に命じられました。法政大学の通信教育課程の学生数は、少なくともここ20年間、ほぼ全学部・学科とも減少傾向にあります。地理学科も例外ではなく、20年前にくらべ、学生数が4分の1を切ってい

ます。そろそろ歯止めをかけないと、このまま減少し続けると大変なことになるかもしれません。大学進学率の増加や経済的な不況など、さまざまな構造的な原因もあると思いますが、学科として減少に歯止めをかけるべく、魅力的なカリキュラムや資格取得など、あらたな方策を模索中です。学会に入会している通教生のみなさんは、おおそ全体の16%程度ですが、もう少し多くの学生に学会に入会してもらえるよう努力も必要と思っております。微力ながらがんばりますので今年度どうぞよろしくお願い致します。

(通信教育課程主任 前壱英明)

院・地理学専攻だより

2017年度、大学院人文科学研究科地理学専攻では、修士課程に1名、そして同国際日本学インスティテュート修士課程に3名の地理学専攻所属者を、それぞれ新しく迎えました。学問研究を志す人にとっては大変厳しい状況が続く時代ですが、自分の究めたい目標に向かって邁進していただきたいと切に願います。

また今年度は、専攻スタッフにも異動があり、定年退職者の後任を含めると4名の新顔（ただし1名は出戻りですが）が加わって、より幅の広い分野についての指導が可能になりました。

(大学院地理学専攻主任・中俣 均)

<<会員の動向>>

(2017.3.31～5.23の会員動向です。敬称略、申し込み順)

【入会】

【一般】

河野 みち枝 (愛知) / 佐々木 星弥 (東京)
/ 千代 正清 (長野) / 羽佐田 紘大 (東京)

/ 稲川 早苗 (埼玉)

【学生】

小松原 麻衣 (東京) / 原口 廣實 (長野)

<<会計委員会より>>

本年度の会費の納付をおねがいします。また、過年度分の会費が未納の方は速やかな納付をお願いします。

常任委員会での決定により、会費を3年以上滞納している会員には会誌ならびに学会ニュースの送付を停止することになりましたので、ご注意ください。なお、ご自身の会費の納付状況をお知りになりたい方は、会計委員会 (kaiin_kaihi@chiri.info) までお問い合わせください。

本学会は会員皆様の会費によって運営されておりますので、その点をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。

<<学会ニュース原稿の募集>>

法政大学地理学会ニュースに掲載する原稿を広く会員の皆様から募集しております。原稿のご相談は、下記の連絡先までお願いいたします。
連絡先：庶務委員会 (shomu@chiri.info)

2017年6月2日発行

編集 法政大学地理学会庶務委員会

発行 法政大学地理学会常任委員会

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

Fax. 03-3264-9459

E-mail hoseichiri@chiri.info

Web <http://www.chiri.info/index.html>

郵便振替 00170-9-16744